2027年度 総合型選抜入学試験１期・２期要項

1 募集学環・学科および募集人員（１期・２期合わせて）

文 学 部
- 現代英語学科　11名
- 児童教育学科
  - 〈児童教育コース〉　８名
  - 〈幼児保育コース〉　15名
- 文化交流学科　11名

生活科学部
- 心理福祉学科　19名
- 食物健康科学科　16名

看護学部
- 看　護　学　科　10名

経営学部
- 経　営　学　科　14名

未来教養学環　８名

2 出願資格

2027年４月１日現在満18歳以上で、次の（１）から（４）の条件をすべて満たす者。

（1）次のいずれかに該当する者。

現役高校生・過年度卒業生（2027年４月１日現在満23歳以下）

- ●高等学校または中等教育学校を卒業した者および2027年３月卒業見込みの者。
  - ※ただし、通信制高等学校にあっては、2026年度中に卒業または卒業見込みの者を含む。
- ●通常の課程による12年の学校教育を修了した者および2027年３月修了見込みの者。

社会人（24歳以上）2027年４月１日現在24歳以上

- ●高等学校または中等教育学校を卒業した者。
- ●通常の課程による12年の学校教育を修了した者。

（2）出願する際の基準

文学部、生活科学部、経営学部の学科および未来教養学環は、全体の学習成績の状況（評定平均値）による基準を設けない。

看護学部看護学科は、全体の学習成績の状況（評定平均値）が3.1以上である者。

※学習成績の状況（評定平均値）は、次のものを使用し判断する。

- ・現役高校生は出願時に高等学校が出し得る最新の成績（第１学年から高等学校が出し得る最新の学期の成績まで）、過年度卒業生は高等学校修了時の成績
- ・廃校その他の理由により、高等学校修了時の成績が証明できない場合は、個人所有の成績通知表

（3）学環・各学科の「アドミッション・ポリシー」の趣旨にそう者。

（4）レポート提出型の場合、出願時に、学環・各学科（コース）で提示する課題を提出できる者。

3 選抜方法

次の（１）から（３）の課題の中から、いずれか１つを選択してください。各課題については26〜29ページをご覧ください。

（1）**レポート提出型**

志望理由書、提出課題、本学で実施する面接試験、および調査書を用いて、多面的・総合的に評価を行い、合格者を決定します。

（2）**指定課題プレゼンテーション型**

志望理由書、各学環・学科（コース）から指定されている課題に関するオーラル・プレゼンテーション（口頭発表）、本学で実施する面接試験、および調査書を用いて、多面的・総合的に評価を行い、合格者を決定します。

（3）**探究活動プレゼンテーション型**

志望理由書、高等学校の科目「総合的な探究の時間」に関するオーラル・プレゼンテーション（口頭発表）、本学で実施する面接試験、および調査書を用いて、多面的・総合的に評価を行い、合格者を決定します。

4 併　　願

他大学等との併願を認めます。

ただし、本学総合型選抜入学試験１期あるいは２期の入学手続き（学費延納手続きを含む）をした場合、本学他試験区分への出願はできません。

5 出願上の注意

19ページを参照してください。

6 出願方法

(1)「入学試験出願の方法」(20～21ページ)を参照してください。

(2)郵送(簡易書留)を原則とします。

出願書類は、Web出願システムからプリントアウトした宛名ラベルを角２封筒(24cm×33.2cm)に貼付し、郵送・提出してください。プリントアウトできない場合は、入試広報部までお問い合わせください。

(3)出願期間　**１期　2026年９月１日(火)～９月24日(木)〈書類必着〉**

２期　2026年11月24日(火)～12月４日(金)〈書類必着〉

１期・２期ともに出願登録は出願初日９時00分～締切日16時30分までとなります。

窓口受付は９時00分～16時30分までとなります(ただし、土曜日午後、日曜祝日、試験日は除きます)。

(4)入学検定料支払期間　**１期　2026年９月１日(火)～９月24日(木)**

２期　2026年11月24日(火)～12月４日(金)

１期・２期ともに入学検定料支払いは締切日16時30分までとなります。

7 出願書類

出願期間内に下記の書類を一括して提出してください。

(1)**出願確認票**(Web出願システムからプリントアウト)

(2)**出身学校調査書　１通**(開封厳禁、出願期間開始３ヶ月以内に発行のもの)

廃校その他の理由により出身学校長の調査書が得られない場合は卒業証明書、成績表その他入学志願者が提出できる書類をもって代えることができます。

(3)**志望理由書**①・②(本学受験生サイトからダウンロード)

(4)**写真　１枚**(４cm×３cm、出願前３ヶ月以内に撮影、正面上半身脱帽、無背景)

志望理由書①に貼付してください。

(5)**課題**(レポート提出型選択者のみ)

8 入学検定料

34,000円(Web出願による検定料支払いの際、別途手数料が必要となります。)

「入学試験出願の方法」(20～21ページ)を参照してください。

9 受験票交付

出願締切後、本学所定の受験票(ハガキサイズ)を郵送します。試験日前日までに届かない場合は、入試広報部までお問い合わせください。

10 試験会場

本学試験場〔JR常磐線大甕(おおみか)駅西口(学園口)隣接〕

79ページを参照してください。

11 試 験 日

１期	文学部・生活科学部・看護学部・経営学部	**2026年10月10日(土)**
	未来教養学環	**2026年10月17日(土)**
２期	全学部・学環	**2026年12月12日(土)**

12 試験時間割

試験場開場時間

１期	文学部・生活科学部・看護学部・経営学部	**2026年10月10日(土) ８時30分**
	未来教養学環	**2026年10月17日(土) ９時00分**
２期	全学部・学環	**2026年12月12日(土) ８時30分**

※集合・面接試験の時間については、個別に受験票で通知します。

13 受験上の注意

22ページを参照してください。

【学校保健安全法での出席停止が定められている感染症等および災害や不慮の事故等の不測の事態に伴う受験機会の確保について】

※総合型選抜入学試験１期出願者で、以下(１)～(３)の理由により試験当日受験ができない者は、総合型選抜入学試験１期の入学検定料を総合型選抜入学試験２期に振り替えて２期の受験をすることができます。

(１)感染症に罹患し、試験当日に入院中または自宅において療養中の者

(２)感染症の罹患が疑われる者(急な発熱等)

(３)災害や不慮の事故等の不測の事態により受験することができなかった者

※該当者は試験前日または当日の以下受付時間内に本学入試広報部への電話連絡が必要となります。

※総合型選抜入学試験２期の出願手続きを行う必要があります。

【電話連絡受付時間】

試験前日　９時00分～16時30分

試験当日　８時00分～９時00分

【連絡いただく内容】

受験番号・受験者氏名・高等学校名・連絡先・受験ができない理由

【電話連絡先】

入試広報部 0294-52-3215(代)

上記受付時間内に電話連絡ができない状況にあった場合、別途本学入試広報部へご相談ください。

14 合格発表

合格発表日　**１期　2026年11月２日(月)**

２期　2026年12月16日(水)

(1)合格者には合格通知書および入学手続書類を送付します。本学での書類の直接交付は行いません。

(2)合否について出身学校長に通知します(既卒者を除く)。

(3)合格発表日11時00分、インターネットによる「合否照会システム」を利用し、合否結果を確認することができます。

「合否照会システム」については、65～66ページをご覧ください。

(4)入試広報部への電話などによる合否についての問い合わせには一切応じません。

15 入学手続期間

１期　2026年11月４日(水)～11月11日(水)〈書類必着〉

２期　2026年12月17日(木)～12月24日(木)〈書類必着〉

窓口受付は９時00分～16時30分までとなります(ただし、土曜日午後、日曜祝日、試験日は除きます)。
72～73ページを参照してください。

16 学費延納期限

2027年３月25日(木)〈書類必着〉

17 新入生特待制度

入学予定者は、本学『新入生特待制度』を利用することができます。利用を希望する場合は、70ページを参照してください。

18 入学前教育プログラム

入学手続者(学費延納手続きを含む)は、入学までに本学で実施する入学前教育プログラムに参加することとなります。日程・内容等の詳細は、合格通知書送付時にお知らせいたします。概略は、71ページを参照してください。

19 課　　題

(1)**レポート提出型**

課題を提出する際には必ず所定の表紙・原稿用紙を使用(本学受験生サイトからダウンロード)してください。表紙には氏名等必要事項を記入する欄が設けられています。また、課題図書の書名や字数を記入する欄もありますので、記入漏れのないようにご注意ください。

●現代英語学科

Read the assigned book and answer the following two questions in your own words. Please be ready to talk about this project in English and Japanese in the interview.

・課題図書　鴻巣友季子 著
『英語と日本語、どうちがう？』NHK出版 825円(ISBN：978-4-14-407337-3)

【課題１】

Translate the underlined sentences in the following passage into Japanese in your own words.

> “Mine is a long and sad Tale!” said the Mouse, turning to Alice, and sighing.
> “It is a long tail, certainly,” said Alice, looking down with wonder at the Mouse’s tail：“but why do you call it sad?”
> ＊　＊　＊
> “Ah, well! It means much the same thing,” said the Duchess, digging her sharp little chin into Alice’s shoulder as she added “and the moral of *that is*—‘Take care of the sense, and the sounds will take care of themselves.’”
> (Lewis Carroll, *Alice's Adventures in Wonderland*)

【課題２】

Explain why you translated the underlined sentences as shown above, based on the translation techniques presented in the assigned book. Answers must be written in English.

●児童教育学科 児童教育コース

課題図書を読んで、次の２つの課題に答えなさい。所定の原稿用紙に横書き、本人手書きとします。

・課題図書　白井俊 著
『世界の教育はどこへ向かうか ― 能力・探求・ウェルビーイング』
中央公論新社 990円(ISBN：978-4-12-102844-0)

【課題１】序章、第１～５章、終章の中から１つの章を取り上げ、その内容を400字程度で要約してください。
【課題２】この本を読んで、学校教育との関連において、あなたが考えたことを800字程度で述べてください。

●児童教育学科　幼児保育コース

課題図書を読んで、次の２つの課題に答えなさい。所定の原稿用紙に横書き、本人手書きとします。

・課題図書　黒柳徹子 著

『窓ぎわのトットちゃん 新組版』講談社 880円(ISBN：978-4-06-293212-7)

【課題１】トットちゃんの通ったトモエ学園では、どのような教育が行われていたか、この本を読んだことのない人に、トモエ学園の教育が解かるよう、600字以内で説明してください。

【課題２】あなたがトモエ学園の先生になるとしたら、どんな力が必要とされると思いますか。それは、どのエピソードから読み取れましたか。そのエピソードの掲載された章のタイトルを挙げ、そのような力が必要とされると考えた理由を、800字以内で説明してください。

●文化交流学科

課題図書を読んで、次の２つの課題に答えなさい。所定の原稿用紙に横書きとし、本人手書き、またはパソコンでの作成のいずれも可とします。

・課題図書　ブレイディみかこ 著

『ぼくはイエローでホワイトで、ちょっとブルー』新潮社 737円(ISBN：978-4-10-101752-5)

※同書は全２冊発売されていますが、第１巻のみを課題図書とします。

【課題１】この本を読んだ感想を、400～500字程度で書いてください。

【課題２】これからの日本社会で「エンパシー」が必要となる場面はどんな場面ですか。この本を参考にして、あなたの考えを1,000字程度にまとめてください。

●心理福祉学科

課題図書を読んで、次の２つの課題に答えなさい。所定の原稿用紙に横書き、本人手書きとします。

・課題図書　稲田豊史 著

『本を読めなくなった人たち コスパとテキストメディアをめぐる現在形』

中央公論新社 1,210円(ISBN：978-4-12-150861-4)

【課題１】この本で最も重要だと考える主張を1つ選び、その内容と理由をあなたの考えも含めて400字程度で述べてください。

【課題２】この本で紹介されているように、本を読まなくなったことにより起こっている/起こりうる問題は何か、心理学や社会福祉学の視点を含めながら、800字程度で述べてください。

●食物健康科学科

課題図書を読んで、次の２つの課題に答えなさい。所定の原稿用紙に横書き、本人手書きとします。

・課題図書　樋口満 著

『健康寿命と身体の科学 老化を防ぐ、50歳からの「運動・食事・習慣」』

講談社 1,210円(ISBN：978-4-06-539088-7)

【課題１】健康寿命を延ばすための食事のあり方について、本書で示されている内容を整理したうえで、説明してください(400～500字程度)。

【課題２】糖尿病または骨粗鬆症のいずれか一つを選び、その予防に有効な運動についてまとめてください。また、その運動を継続するために必要な工夫について、あなた自身の考えを述べてください(400～500字程度)。

●看護学科

課題図書を読んで、次の２つの課題に答えなさい。所定の原稿用紙に横書き、本人手書きとします。

・課題図書　澁谷智子 著

『ヤングケアラー ―介護を担う子ども・若者の現実』

中央公論新社 880円(ISBN：978-4-12-102488-6)

【課題１】この本の内容を400字程度で要約してください。

【課題２】この本の内容について、あなたの考えを800字程度で述べてください。

●経営学科

課題図書を読んで、次の２つの課題に答えなさい。所定の原稿用紙に横書き、本人がパソコンで入力して下さい。

・課題図書　日向野幹也 著

『高校生からのリーダーシップ入門』筑摩書房 990円(ISBN：978-4-480-68341-0)

【課題１】本書が提案する「権限によらないリーダーシップ」とはどのようなものか。本文の内容にもとづき、400字程度で説明してください。

【課題２】本書の第３章および第４章で述べられているリーダーシップのスキルや方策の中から、以下の２点について、あなた自身の経験を踏まえて800字程度で論じてください。

①あなたが最も重要だと考える取り組み

②あなたにとって実践が難しい、またはうまくいかないと感じる取り組み

●未来教養学環

課題図書を読んで、次の２つの課題に答えなさい。所定の原稿用紙に横書きとし、本人手書き、またはパソコンでの作成のいずれも可とします。

・課題図書　牧瀬稔 著

『地域づくりのヒント 地域創生を進めるためのガイドブック』

先端教育機構社会情報大学院大学出版部 1,980円(ISBN：978-4-910255-07-1)

【課題１】第Ⅰ部および第Ⅱ部を読み、第Ⅱ部の「地方創生のキーワード」「地域イノベーションのキーワード」「未来創生のキーワード」の３つの章から、最も重要と考えるものをひとつ選び、論点を整理するとともに重要と考えた理由を400文字程度で述べてください。

【課題２】課題１で選択したキーワードについて、最も重要と考える論点を中心に、筆者の意見に賛同できる点や賛同できない点、執筆時と異なる現状において実際にどのように進めるべきかなど、あなたの意見を800文字程度で述べてください。

(2)指定課題プレゼンテーション型

課題にしたがってオーラル・プレゼンテーションを３～５分程度行い、その後、志望理由書①・②に記入された内容を基にした面接試験を実施します。

プレゼンテーションは、パワーポイント等による投影発表や資料の掲示はできません。原則、口頭による発表とします。

配付資料が認められている場合は、資料に受験番号・氏名を記入し、試験当日３部持参してください(提出された資料は返却しませんのでご留意ください)。

●現代英語学科

“Describe two positive ways and one negative way that automatic translation might affect learning English in detail.”というテーマに沿ってプレゼンテーションしてください。プレゼンテーションの方法は自由ですが、パワーポイントのようなパソコンを用いたプレゼンテーションツールは使えません。原稿メモの確認のほか、ハンドアウト(Ａ４用紙１枚、両面印刷可)の配付や画用紙、写真の使用は可能です(ただし黒板に貼ることはできません)。プレゼンテーションはできるだけ英語で行ってください。また、面接ではプレゼンテーションの内容等について英語でも質問する場合があります。

●児童教育学科〈児童教育コース・幼児保育コース〉共通

「子ども」または「保育・教育」に関連する新聞記事等を選び、その内容に対する自分の考えをプレゼンテーションしてください。記事は2026年４月以降のものとします。関連する記事を複数選択しても構いません。発表中はメモを見ることができます。また、配付資料(Ａ４用紙１枚、両面印刷可)を使用することができます。試験当日は、選択した新聞記事等のコピーおよび配付資料(使用の場合のみ)を各３部提出してください。

●文化交流学科

「日本に住む外国人」または「観光」に関連する新聞記事を１つ選び、文化交流学科の学びと関連づけて、自分の考えをプレゼンテーションしてください。記事は2026年１月以降のものとします。発表中はメモを見ることができます。また、配付資料(Ａ４用紙１枚、片面のみ)を使用することができます。試験当日は、選択した新聞記事のコピーを３部提出してください(配付資料を使用する場合、新聞記事のコピーとは別に３部提出してください)。

●心理福祉学科

「心理職」または「福祉職」に関連するニュース(新聞記事や各省庁、市町村等が発信しているホームページ上の資料等)を選び、その内容に対する自分の考えをプレゼンテーションしてください。発表中はメモを見ることができます。面接担当者に資料を配付することはできません。

●食物健康科学科

①栄養バランスの良い食事

②運動と食事

③災害時の栄養問題

④高齢者の栄養問題

上記の中から１つ選び、各自で設定したテーマに沿ってプレゼンテーションしてください。プレゼンテーションの方法は原則として口述とします。発表中はメモを見ることができます。また、配付資料（Ａ４用紙２枚以内､両面印刷可）を使用することができます。試験当日は、配付資料を３部提出してください。

●看護学科

あなたがこれまでに見たり聞いたりしてきた、高齢者の生活に関する経験やエピソードをふまえて、地域としてどのような支援や取り組みができるか、あなたの考えを述べてください。

発表の内容をまとめたもの（Ａ４用紙１枚、片面のみ）を、試験当日３部準備してください。

発表中はメモを見ることができます。

●経営学科

「少子高齢化」に関連する新聞記事を１つ選び、その記事の中で取り上げられている論点とその記事の著者に対するあなたの考えを論拠とともに述べてください。記事は2025年１月以降のものとします。発表中はメモを見ることができます。試験当日は、選択した新聞記事のコピー（Ａ４用紙１枚・片面のみ）と、①その記事で取り上げられている論点、②著者の主張、③著者の主張に対するあなたの考え、④あなたの考えの論拠となる資料（図や表などのデータや他の新聞記事等）を整理してまとめたもの（Ａ４用紙１枚・片面のみ）を各３部提出してください。

●未来教養学環

複雑化する環境・経済・社会課題に対して、各地域がそれぞれの地域資源を最大限活用しながら自立・分散型の社会を形成しつつ、地域の特性に応じて資源を補完し支え合うことにより、環境・経済・社会の統合的な向上を目指す考え方が重要になっています。

環境・経済・社会の統合的な向上を目指す上で、あなたが特に重要と考える課題とその理由を簡単に述べてください。その上でいくつかの事例を取り上げながら、あなたが住む地域の課題解決にどのような取り組みが考えられるかを述べてください。発表中はメモを見ることができます。また、配付資料（Ａ４用紙１枚、両面印刷可）を使用することができます。試験当日は、配付資料を３部提出してください。

参考）

地域循環共生圏ポータルサイト　https://chiikijunkan.env.go.jp/

環境ビジネスの先進事例集　https://www.env.go.jp/policy/keizai_portal/B_industry/frontrunner/

(3)**探究活動プレゼンテーション型**

課題にしたがってオーラル・プレゼンテーションを３～５分程度行い、その後、志望理由書①・②に記入された内容を基にした面接試験を実施します。

プレゼンテーションは、パワーポイント等による投影発表や資料の掲示はできません。原則、口頭による発表とします。

●学環・各学科共通

高等学校の科目「総合的な探究の時間」の活動に関して、あなたが取り上げたテーマ、活動内容、理解したことなどを簡単に説明してください。また、そのテーマに対して今後必要と考えれることについてあなたの考えをプレゼンテーションしてください。

発表の内容をまとめ（Ａ４用紙１枚、片面のみ）、受験番号・氏名を記入し、試験当日３部持参してください（提出された資料は返却しませんのでご留意ください）。

なお、提出用３部のほか、発表時に受験者本人が参照するための資料やメモを１部持参することができます。

※ただし、現代英語学科を受験する場合は、上記資料を英文で作成してください。また、面接ではプレゼンテーションの内容について英語でも質問する場合があります。